

For Your Dream

夢を**実**現させよう！



公益社団法人 横浜市幼稚園協会

子どもが大好き！ 先生が大好きだった！

そんなことから膨らんだあなたの夢、夢は実現できます。

両親から離れて、初めての集団生活で不安がいっぱいな子ども達。そこで出会う初めての先生。お互いが日々関わり合いながら生活して、共に育ち合っていくところ、そこが幼稚園・認定こども園です。

幼稚園教育は、環境を通して行われるので、各々の園では、子ども達が生き生きと生活できるように環境を構成することに力を注いでいます。この「環境」では、園庭や室内の遊具や装飾も大切ですが、もっとも大切な環境は、保育者です。子ども達にとって園は楽しいところでなくてはなりません、それを作っていくのは保育者です。

子ども達が降園したあと、教材の準備をしたり、打ち合わせをしたり、カリキュラムをつくったりします。大変な仕事ですが、とてもやりがいのある仕事です。

子ども達の遊びは、同じことの繰り返しのように見えて、日々変化していきます。先輩の保育者達もこのような変化や遊び、関わり合いを通して、「楽しかった」「嬉しかった」「おもしろかった」ことで充実した日々を送っています。

泣いて・笑って・走って・歌って・ケンカして・♡

子どもと共に保育者は成長します。

あなたが夢見た先生は、あなたと一緒に成長したはず

次はあなたが・♡



先輩保育者からのメッセージ

「母園で夢を叶えました」

幼稚園 7 年目 ゆり先生

園児だった子どもの頃から幼稚園ごっこをして遊ぶことが大好きで、得意なピアノを活かせる仕事であると思ったので「幼稚園教諭になること」が長年の夢でした。現在は、お世話になった先生と一緒に母園で働いています。

初めて受け持ったクラスは年少児。子どもたちも私も幼稚園 1 年目でした。

憧れの職業に就いてようやくスタートを切ったものの、「ママがいい!」と泣かれてしまったり、自由に動き回ったりする子どもたち。ベテランの先生の言葉は響くのに比べ、私は向いていないのかも心折れかけた 5 月。そんなほろ苦い思い出と共に当時を懐かしく思い出します。

今では私も母親になり、保育者としての視点に加え保護者からの視点ももちながら子どもたちとの関わりを考えるようになりました。自分の子と同じ年齢の他の子を比べて不安になったり、心配になったり…そんな親心も理解できるようになってきた分、園で見せてくれる子どもたちの成長もより一層嬉しく感じます。



最近参加した研修会の中での「子どもたちはその活動から何を持ち帰るのか」というワードが心に残りました。保育の全てに保育者の意図が込められていて、限られた時間の中で私たちは何を与えてあげられるのだろうか。子どもたちと過ごす時間を有意義なものにしたいと感じた瞬間でした。

日々の園生活の中でトラブルは付きものですが、ただこちらが答えを与えるのではなく、子どもたちと一緒に「何がいけないのだろうか?」「こうしたらどうかな?」と丁寧に接することを意識しています。そうした経験を通してお互いを認め合ったり優しさを分け合ったりしながら、かけがえのない大好きな友だち・先生という存在を実感することができるのではないのでしょうか。

幼稚園に慣れる時期の年少、交友関係が広がってくる年中、自分で考え行動ができる年長、そして就学へ…幼稚園での経験は卒園したら終わりではなく、次へのステップとなります。卒園したその後もこの子たちができるべく困らずに生活できるよう、愛情をもって育てていく責任のある仕事です。

大人になると幼い頃の記憶はほとんどなくなってしまうますが、ふと思い出した時に楽しかったな 久しぶりに会いたいな と感じてもらえることが何より嬉しいものです。

卒園した子どもたちがいつか幼稚園に訪れた時には、一人ひとりの良さを知っている私たち保育者がいつでも抱きしめてあげたいと思っています。

かつて私が感じたように、戻ってきたいと思える場所を作れるよう、これからも子どもたちと宝物のような時間を過ごしていきたいです。

先輩保育者からのメッセージ

「子どもと一緒に成長していく日々」

認定こども園 4 年目 かえで先生

私は、自分が幼稚園児だった頃の担任の先生が大好きで、いつしか「この先生みたいになりたい!」という憧れになり、幼稚園教諭を目指すようになりました。得意な製作を活かしつつも苦手なピアノは一生懸命練習し、今ではクラス担任として、憧れだった先生に一步でも近づけるように頑張っています。

私が初めて受け持ったクラスは年中児でしたが、新型コロナウイルスが流行し、新学期は休園から始まり、分散登園等、様々な対策をしながら保育を行い、クラス全員が揃うまでに数カ月かかりました。いざクラスでの保育が始まると、子ども同士のトラブルや子どもへの声の掛け方、保育の中での保育者の動き等、沢山悩む事もありました。しかし、一緒にクラスを受け持っていた先生から、どうやって子どもと関わっていくべきなのか、どういう声掛けをすると子ども達に伝わるのか等、保育を学び、子ども達と一緒に私自身も成長していく事ができました。



数年後にまた年中児のクラスを受け持った際には、余裕がなくただ一生懸命保育をしてきた新任の頃とは違い、広い視野で子ども達の姿を捉え、子ども達と一緒に楽しんで保育ができるようになってきたと思います。その中で、年中児は友達と一緒にルールのある遊びを楽しむ姿が多く見られます。今までは玩具等で一緒に遊ぶだけだったものが、“鬼ごっこ”等ルールを守って遊ぶ遊びへと変化していきます。しかし、ルールを決める際には、鬼は1人か2人か、バリアはありかなしか等、様々なトラブルが起こります。ルールのある遊びを始めた当初は、決まったルールに納得がいかず涙を流してしまう子どもがいたり、自分の思っていた通りにならず強い口調で言い返してしまう子どもがいたりと仲介に入らなければならない状況が続きました。そのような状況を子ども達が何度も経験する事で、どうすればみんなが納得できるルールで遊べるのか、どうやって伝えれば友達に伝わるのかを学び、今では仲介に入らなくても時間で区切ってルールを変える等、子ども達で解決できるようになってきています。年中児の1年間を通して、生活面だけではなく、遊びの中でも子ども達の成長を感じる事ができます。そして、年長児では就学に向けて子ども達の沢山の成長を見守る事ができます。

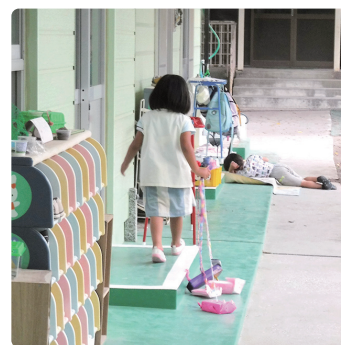
子ども達にとって幼稚園が楽しい場所であり、さらに安心できる場所になるように心掛け、子ども達の笑顔で溢れる日々が過ごせるようにしていきたいです。その為には、子ども一人ひとりとしっかり向き合い、信頼関係を築いていく事が大切だと思っています。私自身、何度も子ども達の笑顔に救われているので、これからもその子ども達の笑顔を守っていきたいと思います。

先輩保育者からのメッセージ

「なりきり遊び、～のつもり遊びから子ども理解」

幼稚園主任 りか 先生

保育者になって直ぐの頃は仕事に慣れるだけで精一杯で気づきませんでしたが、しばらく経った頃、子ども達と過ごす中で子どもから学ぶ事の多さに驚く自分がいました。想像力に度々感心したり、観察力にびっくりしたり…の日々ですが、あの自由で豊かな発想は幼子だからこそと思われれます。本当ではないけれど本当なのかも？と思いこめる魔法が使えるのも子どもの特権かもしれません。例えば、箱で作ったねこさんたちが本当に生きてるねこではない事は本人も十分わかっていますが、それを超えて想像の世界で自由に遊べる姿を懐かしくまた、うらやましくも思います。



主幹教諭となり保育の現場から少し遠くなって10年近くが経ちますが、今でも時々思い出す、ある女の子とのエピソードがあります。もう卒園して数年たつ女の子の話です。よくおしゃべりする、どちらかといえど大人っぽい事が好きで『それは〇〇なんだよ』などお友だちに教えたり諭したりする感じで、人の前で何かになりきるなんて恥ずかしいというしっかり者の女の子でした。



ある日事務室に飛び込んできて、前日に実写版の『美女と野獣』の映画を観てきたと興奮気味に話してくれました。『先生もぜったい、ぜったい観たほうがいいよ！すっごく、すっごく面白かったの！』と、目を輝かせ、珍しく周りの事も気にせずに懸命に映画の素晴らしさを私に伝えてくれました。その日はしばらく美女と野獣の話で盛り上がりました。翌日も美女と野獣の話は続き…よほど心が揺さぶられて大きな感動を受けたのでしょうか。とりわけ主人公のベルに魅了されたようで『今日はベルとおんなじ黄色いスカートなの。』と嬉しそうでした。その時に私の机にちょっと厚めの単行本がのっているのをじっと眺めた後に『その本、ちょっと借りていい？』（これ、私が小さい時に読んでた本で随分古くてくたびれているけどいいのかなあ？）と思いながら『どうぞ』と渡すと、『ベルが持ってる本ってさ、こういう固くて厚い本なんだよね。』合点がいきました。厚さや古さが確かにぴったり。さらに『ちょっと持っていくね。』と、人けのない職員玄関に向かっていき、誰もいないのを確かめてから、ベルのように本を小脇にかかえてスキップしていたのです。もちろん、本人に気づかれないようにこっそり盗み見で。

一見クールに見える子どもでしたが、心を震わせるような体験によって、いつもの殻を破り思わぬ行動をしたその心躍る様子。人に見られないよう気を配りながらもやらずにはいらなかったその姿に共感したり感動したり。何年も忘れられない出来事で、私の心も一緒に踊りました。



子ども達の日々にはきっといくつもの心が震えるような体験があり、それをきっかけにいつもの自分が変わっていくポイントがあると思います。その体験が心震えるものになるかどうか、なったとしてもそれをきっかけに出来るかどうか、小さな種を大切に育てていく事と似ている様な気がします。子どもに寄り添い成長を見守る私たちは、子どもの中に生まれた種にちょうど良いタイミングで適した量の水をあげたり、時には肥料をあげたりしながら子どもの気づきや感動を共有していける保育者でいたいと思います。

園での一日

子どもたちは幼稚園・認定こども園で様々な経験を積み、成長していきます。時間帯、保育内容は園によって様々です。



登園



先生おはようございます。

9:00

朝の支度



今日もしっかりできるかな？

お当番



先生のお手伝いもする
みんなのヒーロー！

朝の会



絵本
紙芝居



今日はどんなお話かな？

製作



ちよきちよぎ
べたべた楽しいな。

ころんだって
へっちゃら!!

外遊び



避難訓練



12:00

お弁当
給食



待ちにまっただお昼ご飯。
みんな揃って「いただきます!」

室内遊び



お誕生会



帰りの会



今日も楽しかったね。
明日はなにをしようかな？

14:00

降園



先生さようなら。

横浜市型預かり保育

7:30 → 9:00 → 14:00 → 18:30

登園

預かり保育

園の活動

預かり保育

降園

横浜市型を行わない園でも、独自の預かり保育を行っている場合があります。





子どもたちの楽しい園生活と
健康・安全のために



先生たちのお仕事

園内の 安全点検



毎日、遊具の点検や園庭の見回りをして
子どもたちの元気な遊びに備えます。



園舎の掃除 かたづけ



子どもたちが安心して気持ち
よく使えるように、丁寧な掃除
は欠かせません。



保育活動 の準備



楽しい園生活のためにしっかりと
計画をたて、教材の準備を行います。

すべては子どもたちのために

職員会議

子どもの様子を伝えあい、お互いの意見や考えを出しあって、よりよい保育をめざしています。



動植物の世話

子どもたちが育てやすいように、環境づくりをしています。



一人ひとりの子どもによりそって

子どもたちの痛い、困った、どうしよう…を温かく見守っています。



クラスのかざりつけ



子どもたちの作品や先生の壁面装飾で、季節感を演出します。

よりよい保育をめざして

園内外での実技研修や研修会に参加し、資質の向上に努めています。



楽しい遊び・体験がいっぱい。

入園の日



園長先生のお出迎え
仲良く園生活を送ろうね。

移動動物園



「羊さん
めしあがれ！」



こんな
楽しみ方も
できるよ！

ガラス絵



野菜作り



園庭の野菜
おいしいよ！

木のぼり



プール



夕涼み会



浴衣もうれしい
盆踊り。

運動会



力いっぱい
がんばれー！

やきいも



おいしいのが
できた！

お遊戯会



さあ、楽しいダンスの
はじまりです。

クリスマス



今年もサンタさん
来てくれたよ。

お餅つき



「えっころしよ、
どっこいしょ！」

幼稚園・認定こども園等を利用する3～5歳児クラス等の 子どもの利用料は、「幼児教育・保育の無償化」の対象です。

幼稚園・ 認定こども園等

- ◆3歳児クラスから5歳児クラスの全ての子ども利用料が無償化
- ◆0歳児クラスから2歳児クラスの子どもは、市民税非課税世帯が無償化

- 私学助成幼稚園については、月額25,700円まで無償となります。
- 幼稚園・認定こども園の教育部分については、満3歳から無償化の対象となります。
- 利用料のほかに給食費がある場合、年収360万円未満相当世帯の子どもと第3子(※)の子どもについては、副食費(おかず、おやつ等の費用)の免除または一部補助が受けられます。

※幼稚園・認定こども園(教育利用)は小学校3年生、認可保育所・認定こども園(保育利用)は就学前児童から数えて第3子以降の子ども

幼稚園・ 認定こども園の 預かり保育

- ◆保育の必要性を認定された、3歳児クラスから5歳児クラスまでの
子どもの利用料が、月額11,300円まで無償化(※)

- 利用日数に応じて1日あたり450円、月額11,300円を上限に無償化
 - 満3歳(3歳になった日から次の3月31日まで)の市民税非課税世帯は、月額16,300円まで無償化
- ※横浜市私立幼稚園等預かり保育事業(横浜市型預かり保育)の利用料は、3歳児クラスから5歳児クラスまでは無料、満3歳児は0円～9,000円です。

施設のタイプ	私学助成園		施設型給付園	
	幼稚園	幼稚園	幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園
対象年齢	3歳～就学前(園によっては満3歳から)			0歳～就学前

聞いてみたい

こんな事 あんな事

Q：見学及び採用試験の時の服装は、スーツでないといけませんか？

A：園見学や面接だけの訪問でしたらスーツがいいかもしれませんが、実際に保育をする試験があるような場合は、着替えを持っていったり、動きやすい服装がいいと思います。服装も試験の範囲になることがありますので各園にご確認ください。

Q：採用試験には、どのようなものがありますか？

A：採用試験には、面接試験と実技試験がある場合が多いです。
面接試験は、園長先生や主任の先生との面接で、集団と個人のタイプがあります。実技試験は、ピアノを弾いたり製作をしたりしますが、実際に保育をしてもらうこともあります。

Q：勤務時間や給与はどうなっていますか？

A：勤務時間は、各園によって異なります。特に、送迎バスを運行しているか、していないかで大きく違って来ようようです。また、給与体系は各園それぞれですが、処遇改善手当や住宅手当が支給される場合もありますので、直接、園にご確認ください。

Q：通勤時間の制限はありますか？

A：通勤時間は、概ね1時間くらいが適当と思われます。近すぎると私的な部分でのプライバシーがなくなってしまうという心配があります。また、遠すぎると通勤が大変になってしまいますので無理なく通える範囲をよくご検討ください。

Q：ピアノは弾けないといけませんか？

A：ピアノに対しての比重は各園によって考え方が異なります。うまく弾けなくても一生懸命に子ども達のために取り組む姿勢が大切と考える園が多いように思います。

Q：福利厚生は、どのようになっていますか？

A：私立幼稚園・認定こども園で働く教職員は、私立学校教職員共済組合（私学共済）に加入します。私学共済は、健康保険事業や年金事業、貸付事業、宿泊施設の経営など福祉事業を行っています。掛け金は、毎月園と本人が払うことになります。幼稚園・認定こども園は、仕事上の怪我に備えて労働保険に加入しています。その他の福利厚生は、園によって様々です。

幼稚園協会の活動内容

幼稚園協会とは

横浜に幼児教育施設が誕生したのは、明治4年のことです。現在の「港の見える丘公園」より西に2キロメートル程の所にある「牛坂」が、横浜における幼児の集団教育施設の発祥の地です。それ以来、行政や社会の要望に答えて全国に多数の幼稚園が誕生しました。横浜の幼稚園の特徴は、横浜市内にある幼児教育のすべては私立幼稚園によって支えられているという事です。言い換えれば、横浜に住む幼児の教育は私立幼稚園に任されているということになります。その任務の重大さを思い、横浜の幼児の幸せを願って横浜にある幼稚園が自主的に設立したのが「公益社団法人 横浜市幼稚園協会」です。現在、横浜市内9割の幼稚園・認定こども園が加盟し、それぞれの特色ある建学の精神を基に子ども達の幸せを願って独自の教育理念によって幼児の理想を実現しようと努力しています。



幼稚園協会の活動

- (1) 幼稚園、認定こども園は、それぞれ『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に基づいて保育環境を整えています。教職員と共に良く遊び、良く学び、それを通して子どもの個性を伸ばし、人格形成の基礎を養うために、幼稚園協会はさまざまな研究活動を行っています。新任教諭には幼稚園教育の重大さを認識してもらうため、環境による教育の中で最も大切なのは教諭（人間環境）ということに力をいれて研究を行っています。
- (2) 幼稚園大会を開催して永年勤続教職員の表彰式を行っています。横浜市幼稚園大会では、多くの教職員が表彰され、更に15年・20年の教員には市長からの表彰も行われています。





幼稚園協会の研究活動

横浜市幼稚園協会では、市内幼稚園の教職員、園長、設置者の人間性を豊かにして、教職専門家としての資質の向上や、教育内容の充実を図るため、年間を通してさまざまな活動を実施しています。

(1) 教育研究大会の開催

年度の研究のまとめとしての大会です。市内18支部（区）研究発表の機会として年に1回実施し、研修を深めます。



(2) 教職員のための研修会

各園の教職員が参加し、公会堂などで年2回行っています。

(3) 特別研究委員会

各園の教職員が共同で年間のテーマに従って継続的に取り組んでいる研究活動です。



(4) 支部研究活動

市内18支部（区）でそれぞれ研究テーマをもち、研究を行っています。

(5) その他

園長・設置者のための研修会、新規採用教諭の研修会、幼稚園・保育園・小学校の教育の連携を図る研究会、中堅リーダー向けの保育力・キャリアアップ研究講座やマネジメント研修会、「研究集録」の発行、なども行っています。



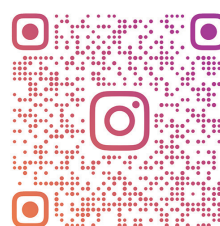


公益社団法人 横浜市幼稚園協会

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25
横浜ポートサイドプレイス アネックス5F

<https://kids-yokohama.or.jp>
TEL.045-534-8708 FAX.045-453-1120

Instagram



Y_YOUCHIEN_KYOUKAI